

## ● 共催・協力事業

ボランティア・NPO活動センターには、前項の学生と地域をつなぐ取り組みの他にもさまざまな地域団体や行政などから事業への協力依頼があります。センター内でどのように関わっていくのかを検討し、多くの場合、学生スタッフやコーディネーターが協働でそれらの依頼に対応しています。

企画名	タイトル	伏見区青少年の福祉体験事業「ユースアクション2010」への協力
報告者名		竹田 純子（深草キャンパス コーディネーター）
日 時		2010年5月11日（火）～10月26日（火） 全体ミーティング 計13回 ※いずれも19時00分～21時00分に実施 事前研修：7月24日（土）14時00分～17時00分 サポーターの施設訪問：7月27日（火）～8月14日（土）まで 事後研修：8月19日（木）14時00分～17時00分 ★その他、学校訪問や臨時研修会、個別ミーティングなどあり
活動場所		京都市青少年活動センター
参加人数		学校19校（中学生25名、高校生76名 合計101名） ユースサポーター 7名（大学生5名、社会人2名）
実施主体		社会福祉法人 京都市伏見区社会福祉協議会／伏見区ボランティアセンター
協 力		京都市伏見青少年活動センター／龍谷大学ボランティア・NPO活動センター

### ■経緯・目的

伏見区内の中学生・高校生を対象に、夏休み期間を利用した社会福祉施設・団体・グループ等でのボランティア体験や福祉体験活動を通して福祉やボランティア活動への関心と理解を深めるとともに、地域社会を構成する一員として社会参加の促進を図ることを目的に伏見区社会福祉協議会（以下、区社協）がユースアクション事業を実施しています。

今年度よりの新しい試みとして大学生がサポーターとして企画・運営から参画して実施することになり、区社協から協力を要請されました。『地域や他大学の学生と関わることによって学生の成長を促進することができる』『センターとして地域との交流の範囲を広げることができる』等の観点から、本事業に協力することになりました。

### ■概 要

4月に、伏見区社会福祉協議会、伏見青少年活動センターの担当者と協議を行い、以下のことを協力しながら進めることを確認しました。

- ①中高生のボランティア体験をより深いものにするために、中高生のサポーターとして当センターの学生スタッフおよび一般学生の参加

- ②大学生サポーターのスーパーバイザーとして、当センターコーディネーターがサポーターのミーティングや事前・事後研修に参加
- ③伏見区内の大学の学生サポーターを集めるための広報協力



ユースサポーターとして、7名の青少年が集まり、その中で、龍大からは3名（学生スタッフ2名、ボランティアサークル1名）が参加しました。

コーディネーターは、ユースサポーターのサポーターとして参加し、ミーティングでの助言や運営サポートを行いました。

ユースサポーターは、5月から月2回の全体ミーティングと、必要に応じて個々に集まりながら、中高生への広報チラシの作成、事前・事後研修の企画・運営、体験先訪問、報告書作成を行いました。

### ■参加者の声・得られた効果など

ユースサポーターの提案を取り入れて、募集要項などを見直し、若者の感性を生かしたものにリニューアルしたことが功を奏したようで、他区に比べて圧倒的に多い参加者を集めることが出来ました。また、事前・事後研修も若者ならではのアイデアを盛り込んだものであったため、ほとんどの参加者から好評を得ることが



出来ました。参加者からは『不安だったけれど、ユースサポーターが優しかった』というような声もありました。

### ■コーディネーター所感

他大学の学生や社会人と一緒にチームを組んで、中高生を相手に、プログラムを作っていくことは、参加した学生にとって、とても良い刺激になったように感じています。

特に、それぞれの立場でボランティア活動に関わっている人が、初心者の中高生にボランティアをどう伝えるか？と言ったこともテーマになっていたので、自分自身のボランティア観を問い直す機会にもなっていたように感じます。

このユースアクションへの協力を機に、伏見区社協や青少年活動センターとつながれたことも大きな収穫でした。

企画名	タイトル	スタディツアー合同説明会
報告者名		竹村 光世 (深草キャンパス コーディネーター)
日時		夏季ツアー説明会：2010年6月12日(土) 13時30分～17時00分 冬季・春季ツアー説明会：2010年11月13日(土) 13時30分～17時00分
場所		大阪梅田キャンパス 研修室
実施主体(共催)		特定非営利活動法人 関西NGO協議会/株式会社 マイチケット ボランティア・NPO活動センター
参加人数		夏季 約60人 / 冬季・春季 約40人

### ■経緯・目的

多くの方が渡航経験を持つ今日、旅にも特色が求められるようになり、観光目的ではなく学び中心のスタディツアーは年々関心が高まってきました。センターにも年度初めから「どんなスタディツアーがあるのか知りたい」「海外でのボランティアに関心がある」という学生が多く来室します。

そこで、センターの提携団体である(特活)関西NGO協議会と、海外体験学習プログラム(P.43参照)の学内企画でも各種手配に携わっている(株)マイチケットとの共催で、スタディツアーを企画しているNGO団体を集めて合同説明会を開催することになりました。

### ■概要

#### 【第1部】14:00～15:00

スタディツアーの選び方、楽しみ方のポイント、現地で気をつけるべきことなどを、参加者がNGOスタッフと一緒に考えるトーク形式の講演会を実施しました。

#### 【第2部】15:00～17:00

スタディツアーを企画するNGO団体が集まり、ブースを設置しました。説明会参加者は、それぞれ関心のある団体のブースを訪問し、団体の取り組みやツアー内容などを個別に質問します。ブース出展団体は次のとおりです。更に、出展団体以外のチラシや団体パンフレット等も設置し、参加者が手に取って比較・検討できる

ようにしました。



	ブース出展団体	資料参加
6月	インドマイトリの会、トランセンド研究会、地球の友と歩む会、とも、プラビーダの会、マイチケット 他 計22団体	Link・森と水をつなぐ会、緑の地球ネットワーク、ストリートチルドレンを考える会、ジュレーラダック、アジア砒素ネットワーク 等
11月	PHD協会、Link・森と水をつなぐ会、緑の地球ネットワーク、ICYE JAPAN、地球の友と歩む会、アクセス、インドマイトリの会、ソムニード、とも、ニランジャナセワサンガ、LOOB、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、関西NGO協議会、マイチケット 他 計18団体	ストリートチルドレンを考える会、本場のパンソリを聴く会、プラビーダの会、トランセンド研究会、アジア協会アジア友の会、CIEE 等

また、終了30分前に、(株)マイチケット提供によるバリ島往復航空券やNGO団体などから提供された景品の抽選会を実施しました。

■参加者の声・得られた効果など

- いろいろなツアーがあるのだなと勉強になりました。
- 実際の活動の様子など直接話が聞け、ツアーが以前より近いものになった。
- 今まで漠然としていたスタディツアーのイメージが具体化されてよかったです。
- 意外にNGO団体で若い方がいることに驚いた。次のステップになりそうな話をたくさん聞けてよかった。

■コーディネーター所感

参加者は、説明会終了後も出展団体に質問をする等、熱心に相談していました。

第1部の講演会は、参加者のツアーの選び方の参考になっただけでなく、他団体にとっても企画をつくる上での参考になる話になったようです。

内容としては、本学学生のみに限らず、他大学の学生にも広く呼びかけ、協働で行っていくのが望ましい企画と考えられるので、今後、大学コンソーシアム京都とのコーディネート等考えていきたいと思います。



企画名	タイトル	音楽ドキュメンタリー映画「カンタ！ティモール」試写会 & エゴ・レモス ライブコンサート
報告者名		竹村 光世 (深草キャンパス コーディネーター)
日時		2010年10月28日 (木) 17時00分～ 20時00分
場所		龍谷大学アバンティ響都ホール
参加人数		約100人
実施主体 (共催)		特定非営利活動法人JIPPO / ボランティア・NPO活動センター
協力		特定非営利活動法人パルシック

## ■経緯・目的

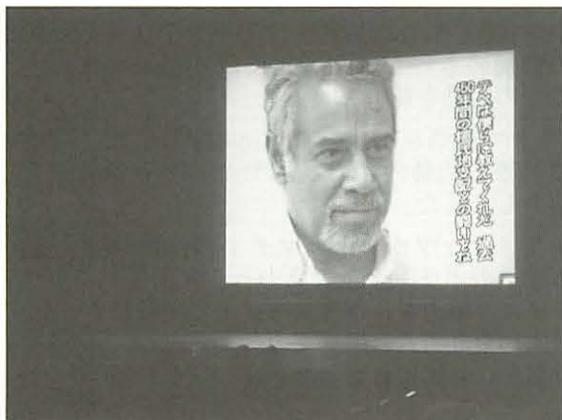
センターの提携団体であり、野宿者支援活動(P.36参照)で協働している(特活)JIPPOでは、活動の柱の一つとして途上国における「貧困問題」に関する事業を行っており、世界の平和と貧困について考える機会として『「平和」と「貧困」を考える集い』を開催しています。その一環として、コーヒーのフェアトレード販売を通じて支援している「東ティモール」を紹介する映画試写会とコンサートを開催することになったのだが、多くの学生に東ティモールや日本との関係についてぜひ知って欲しいということで、JIPPOからセンターに協力依頼がありました。

当センターにも「世界でどのような問題が起こっているのか、自分に何かできるのか知りたい」「海外でのボランティアに関心がある」と国際的な課題に関心を持つ学生の来室が多いことから事業に協力することになりました。

## ■概要

【第1部】17:00～19:00

東ティモールの自然や習俗、戦争の傷跡や人々の生き方について紹介した音楽ドキュメンタリー映画「カンタ！ ティモール」の試写会



【第2部】19:15～20:00

映画の挿入歌を提供し、キーパーソンとして出演する東ティモールを代表する歌手 エゴ・レモス氏と小向定氏のコンサート



## ■参加者の声・得られた効果など

- 東ティモールのこと、またその苦しみには日本も関わっているという現実を知ることができた。
  - 東ティモールの人が、激しい軍事攻撃をしたインドネシア軍に対し、独立した今、憎しみはないと言っていたのが印象的だった。
  - 東ティモールの音楽は、皆で一緒に輪になって踊って歌うものなんだと感じた。
  - コンサートで一緒に歌う、手拍子をとるなど共に楽しむことができた。
- といった感想がアンケートに寄せられました。

## ■コーディネーター所感

短い周知期間でしたが、プレスリリースも行って、学生のみならず、一般の方の参加も得られました。当日は監督の広田奈津子さんも駆けつけてくださり、来場者に、映画では東ティモールの家族や地域の人々の強い絆や愛情を描いたとメッセージいただきました。軍事攻撃に関する重たい表現やシーンもあったものの、遠い国のことではなく、日本との関係、自分との関わりに気付くきっかけになったと思います。エゴ・レモス氏より、舞台装置・音響、学生スタッフも関わった当日運営についてもお褒めいただき、学生にはこのきっかけの場を次の行動につなげてほしいと思います。

## ○その他の地域イベントなどへの出展・協力

センターでは、これまで報告してきた事業以外に、特に協力等が必要と思われる以下のイベントへ出展、協力等を行いました。

## ■深草キャンパス

日 程	イベント名等	内 容
2010年10月17日（日）	「福祉ボランティア・社協フェスタ」への出展	学生スタッフがポスターなどで、センターの活動を紹介しました。
2011年2月24日（木）	「災害支援ボランティア養成講座」で寸劇を実施	伏見区ボランティアセンター主催の講座で、実際に災害地でボランティアをするための理解を深めるために、寸劇「よくわかる、災害ボランティアセンターの役割！」を発表しました。



福祉ボランティア・社協フェスタ



災害支援ボランティア養成講座

## ■瀬田キャンパス

日 程	イベント名等	内 容
2010年11月5日（金）	大津市立瀬田南小学校「総合的な学習」の授業への協力	小学校5年生の約30名に、ボランティア活動への参加のきっかけや今年度取り組んだまちづくりの活動を紹介しました。
2010年11月21日（日）	「おおつボランティア・市民活動フェスタ2010」への出展	「ナカマチ商店街土曜夜市in丸屋町」や「大津祭」等の活動内容の展示やセンターの活動を紹介しました。
2010年12月11日（土）	「環びわ湖大学地域交流フェスタ2010」での発表	学生スタッフが「ナカマチ土曜夜市in丸屋町」事業へのボランティア協力と「大津祭」のボランティア協力を、ポスター展示で発表しました。夜市の取り組みは研究交流会で発表し、「活動奨励賞」にも選ばれました。（P.29、P.31参照）



大津市立瀬田南小学校「総合的な学習」



おおつボランティア・市民活動フェスタ2010